

# 校長室の窓から

中野区立塔山小学校 校長 狩野 裕之

皆さん、おはようございます。それでは、お話をします。

先週の金曜日の開校100周年記念児童集会は、6年生と代表委員会の人たちが一生懸命に準備をして、楽しい企画を用意してくれたおかげで、楽しい会になりました。6年生と代表委員会の皆さん、ありがとうございました。

そして、今週の土曜日には、卒業生や地域、日頃お世話になっている方々をお招きして、記念式典と集いが催されます。6年生の皆さんが児童代表で出席します。ぜひ塔山小学校の皆さんの素晴らしさを皆さん自身で伝えてください。よろしくをお願いします。

今月は「ふれあい月間」です。皆さんが学校で楽しく過ごせるように、一人一人ができることに取り組む月です。

もし、皆さんの周りにいつもと様子が違うなあと気になった人がいたら、「どうしたの。」とか「大丈夫？」等と声をかけてみてください。声をかけてもらえるだけでもうれしくなり、元気が出るかもしれません。

皆さんがお互いに気持ちよく過ごせるように、困っている人がいたら声をかけてあげましょう、そして皆が笑顔で過ごせる学校にしましょう。

もう一つお知らせあります。地下鉄の中野坂上駅の大江戸線の改札口の横で、「環境ポスター」が展示されています。塔山小学校の皆さんの中にも夏休み明けに取り組んでくれた人がたくさんいましたね。そして、塔山小学校を卒業して中野東中学校にいる先輩たちの作品もあります。

このポスター展は30年以上続いています。皆さんのお父さんやお母さんも描いたことがあるかもしれません。来月11日まで掲示されていますので、中野坂上駅に行ったときは、行ってみてください。

環境についても考えたり、行動したりを続けることは素晴らしいことです。これからも身近な環境について考えて、できることをやり続けてください。

それでは、お話を終わります。

塔山開校100周年記念児童集会は、心温まるすてきな会になりました。児童が考え、それを担任や担当の教員が見守るという当たり前のことが、しっかりできたということでもありました。代表委員会による「とうやマン」のお友達発表は、アカデミー賞（日本人には、レコード大賞の方が分かりやすいでしょうか）のように発表する代表委員の児童も誰のキャラクターが選ばれたか読み上げるまで知らされていなかったそうです。選ばれた『桃りん』の発案者の6年生がなぜ桃をキャラクターにしたかについてのコメントも素晴らしかったです。

② 本校が開校時は『桃』園第五尋常小学校だったこと

② 学校の北側の緑道には昭和37年までは『桃』園川が流れて（現在は暗渠となっています）いたということ

③ 百という字は「もも」とも読めること

ということでした。ここまで考えられていたことに驚きました。ちなみにこの児童の御家族は四代にわたって本校に通っているそうです。おめでたいことに花を添えてくれました。